



東京芸術祭ファーム
ダイアログ・プラス募集要項
[応募締切 2021年8月25日(水)23:59 JST]



ダイアログ・プラスとは

作品やアーティスト、同年代の参加者など様々な人の意見を聴いて考え、自分自身や他者の価値観と出会う場所—

学生がアーティストや作品を支える人々、同年代の参加者など様々な人と出会い、対話を深めていくことで、物事を多様に捉え、考える機会をつくります。学生であればどなたでも参加できます。学内では出会うことができない様々な価値観を持つ人と出会い・話すことで、今の自分自身と向き合ってみませんか。

| 東京芸術祭ファーム2021 ウェブサイト <https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>

| 東京芸術祭 ウェブサイト <https://tokyo-festival.jp/2021/>

主催：東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）

助成：令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業



ダイアログ・プラス 実施概要

■活動日程

期間：2021年10月上旬～11月上旬

会場：各公演の上演会場、ほか（全て東京都豊島区内）

企画内容

全体で5回程度の講座を実施。東京芸術祭で上演される演目3作品を鑑賞し、アーティストとの対話・参加者同士のディスカッションを行います。

【キックオフミーティング】

どんな態度でプログラムに取り組むかのマインドセットづくり、参加者が自分で発見し前向きにプログラムに取り組む空気をつくります。

【演目の観劇&ディスカッション】

国内外のアーティストの作品を観劇。観劇後は参加者同士で、感想やそこから考えたことをディスカッションをします。

※一部オンライン演目を含みます

【アーティストとの対話】

観劇を通して発見した疑問をアーティストに投げかけたり、アーティストの考えに触れる時間をつくります。

※感染拡大の状況に応じて、一部オンラインで開催する対話を含む可能性があります

【まとめ会】

講座を通して感じたことを言葉にして伝える。他の参加者の意見を聞くことで、自分自身と向き合うきっかけをつくります。

【日程】

第1回

2021年10月2日(土) 14:00-16:30(予定) キックオフミーティング

会場：あうるすぽっと 会議室A

第2回

2021年10月6日(水) 夜公演 From the Farm『フレフレ Ostrich!! Hayupang Die-Bow-Ken!』視聴

会場：オンライン

2021年10月9日(土) 13:00-15:00(予定) アーティストとの対話及び東京芸術祭ファームディレクター多田淳之介よりコメント

会場：未定

第3回 (調整中)

2021年10月13日(水)-15日(金) 夜公演 □□『Every Body feat. フランケンシュタイン』観劇

会場：東京芸術劇場シアターイースト

2021年10月17日(日) 16:00-18:00(予定) アーティストとの対話

会場：未定

第4回 (調整中)

2021年10月15日(金)-23日(土)(予定) 海外オンライン演目の視聴

会場：オンライン

※10月24日のアーティストとの対話の前までに、事前に各自でご視聴ください。

2021年10月24日(日) 17:00-19:00(予定) アーティストとの対話

会場：オンライン

第5回

2021年11月6日(土) 11:00-18:30(予定) まとめ会

会場：東京芸術劇場 アトリエイースト

■総合監修・ファシリテーター

中尾根 美沙子（なかおね みさこ）



青山学院大学社会情報学部プロジェクト准教授/ワークショップデザイナー育成プログラム事務局長。2008年より、ワークショップデザイナー育成プログラムの立ち上げに携わり、カリキュラム設計、オンデマンド教材の制作を行っているかたわら、ワークショップの研究に携わる。リアルコミュニケーションツール「Vitamin Happyビタハピ」や「逆転時間ワークショップ」などでグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞。著書には、「ワークショップと学び」2,3巻（共著）など。

※上記は、2021年7月21日現在の情報です。内容は変更となる可能性があります。

ダイアログ・プラス 募集概要

■活動期間

2021年10月上旬から11月上旬までの期間

■応募条件

次の1~3のすべてにあてはまる方

1. 学生であること（大学生、大学院生、専門学生）
 2. 原則、全5回のプログラムすべてに参加できること
 3. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる
 - セキュリティに問題がないインターネット接続環境
 - グループビデオ通話、動画閲覧、大容量ファイルのダウンロード等に十分に対応できるインターネット接続環境
 - Zoomのグループビデオ通話*が利用できる端末
(使用ツールは参加者の状況やプログラム内容に応じて追加、変更となる可能性あり)
- * Zoomの使用に必要なシステム要件：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
- スマートフォンのみでの参加は非推奨

■対象者

- ・世界の舞台芸術に触れることで視野を広げたい人
- ・他者と「出会う」ことを通じて、自らを見つめなおしたい人
- ・様々な人とのコミュニケーションを積極的にとりたい、と考えている人

■参加費

3600円

■募集人数

20名

※応募者多数の場合は、東京芸術祭ファーム共同ディレクター(長島 確)とファシリテーター(中尾根 美沙子)による選考を行います

■募集期間

2021年7月21日(水) 10:00~8月25日(水) 23:59

■選考結果通知

2021年8月31日(火)

■ 応募方法

以下、応募フォームより必要事項を入力の上、送信してください。

| 応募フォーム（日本語） <https://business.form-mailer.jp/fms/f6b4a61e147451>

〈必要事項〉

1. 氏名
2. 氏名（ふりがな）
3. メールアドレス
4. 日中連絡のつく電話番号
5. 連絡先住所
6. 生年月日
7. ご所属（学科まで正式名称でお答えください）
8. 参加希望理由（300字程度）
9. 「ダイアログ・プラス」に望むことはありますか（300字程度）
10. これまでに舞台芸術や文化芸術に携わった経験がありましたら教えてください（任意）
11. 参加が難しい日程がありましたら教えてください（任意）
12. 他の東京芸術祭ファームのプログラムで応募をしたもの（任意）
※他プログラムへの併願は可能です
13. その他特記事項があれば教えてください（任意）

■ 留意事項

お預かりした個人情報厳重に保管し、本プログラムに関する諸連絡以外に使用することはありません。
応募資料は選考終了後、当事務局の個人情報取扱マニュアルに沿って破棄致します。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

■ 東京芸術祭ファームガイドライン

東京芸術祭ファームは、他者へのリスペクトを前提とし、さまざまな人が創造的な力を安心して発揮できるよう、このガイドラインに則って運営されます。

| ファームプログラムページURL： <https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>

〔お問合わせ〕

東京芸術祭事務局 ダイアログ・プラス担当

メール：contact-tf@anj.or.jp

電話：03-5961-5200（NPO法人アートネットワーク・ジャパン 平日11:30～16:45）

※記載の情報は、2021年7月21日現在の情報です。内容等は変更になる可能性があります。

APAF から東京芸術祭ファームへ

このたび、東京芸術祭の人材育成プログラムとしてアジア次世代の作り手たちの協働と実験の場として人材や作品、国籍や文化を超えたネットワークを生み出してきた“APAF (Asian Performing Arts Farm)”は、これまで東京芸術祭及びフェスティバル/トーキョーが取り組んできた研究開発・教育普及プログラムを組み込んで、より裾野を広げ高みを目指す“東京芸術祭ファーム (Tokyo Festival Farm)”へとバージョンアップします。

ディレクター体制も APAF から引き続きディレクターとして多田淳之介、新たに共同ディレクターとして長島確を加えた2名体制へ、さらに APAF2020 から導入したコミュニケーションデザイン制度を基にガイドラインを策定し、異なる他者へのリスペクトを前提としたコミュニケーションの徹底、個々がクリエイティビティを発揮できる環境作りとハラスメント防止にも積極的に取り組んでまいります。

これまでも舞台芸術は異なる他者と協働し、様々なボーダーを超えてきました。グローバル化が進み、通信手段や移手段の発達によって異なる他者がより身近になった現在は、国籍や民族、言語などの枠組みが融解しはじめ多様な個がフィールドを歩き交う“トランスカルチャー／トランスフィールド”環境が進んでいます。「国際的」という言葉の意味も「普段は混ざってない異文化が混ざること」「国外でも流通すること」から、「日常的に異なるものが混ざり合い複雑化したこの世界の価値観を提示すること」へと変わっていくでしょう。そして舞台芸術の役割もこの世界を映す鏡として変化していくのを感じています。

東京芸術祭ファームの「国際的」な次世代育成の場としてのミッションは、ボーダーの融解するトランスフィールド／トランスカルチャー環境を体感し、様々な価値観と出会いながらこの複雑化した世界を捉える力を育み、国や文化を超えて様々なフィールドをトランスし活躍する人材の輩出、そのための持続可能な環境作りです。

それが世界中で多様化と同時に生まれている「分断」に対抗していくものになると信じています。

2021年、未来に向けバージョンアップした舞台芸術のファームを、どうぞよろしくお願いいたします。

東京芸術祭ファーム 2021 テーマ「都市の価値／Why Cities？」

昨年の APAF2020 は“Anti-body Experiment”というテーマのもと、オンラインの可能性とリアルな身体を捉え直し「集まらないこと」への抗体を作る実験でした。今年の東京芸術祭ファーム 2021 では COVID-19 の感染（拡大／収束）状況の違いが残る世界を背景に“都市の価値／Why Cities?”というテーマを掲げます。これは国や地域ごとに固有のキャラクターを持ちながらも、経済や効率、消費と生産、そして感染症拡大リスクという共通の 이슈を持つ「都市」をめぐる、これからの生き方についての問いかけです。何が変わって、何が変わらないのか。私にとって。私たちにとって。あなたにとって。あなたたちにとって。様々なサイズや距離によっても揺らいでいく「価値」は誰のものなのか。プログラム参加者も観客も、ファームを訪れる異なる者たちで共に考えるためのトリガーです。

2021年6月

東京芸術祭ファームディレクター 多田淳之介



東京芸術祭ファームとは

東京芸術祭ファームは、舞台芸術の祭典・東京芸術祭の人材育成機能を集約した新しい枠組みです。アジアでの若いアーティストの交流と成長のプラットフォームである Asian Performing Arts Farm (APAF: エーパフ) にフェスティバル/トーキョー (F/T) の研究開発・教育普及プログラムが加わって誕生しました。出会いと学びの場「スクール」、現場研修の機会「インターンシップ」、研究開発に挑む「ラボ」の3つのカテゴリーがあります。参加者公募を中心とする多様なプログラムのなかで、他者と協働しながら地域や分野を超えた“トランスフィールド”を開拓し、今後ますます流動的になるさまざまなボーダーを自由に行き来して活躍する人材の育成を目指します。

ラインアップ詳細はこちら <https://tokyo-festival.jp/2020/program/farm2021/>